

八代市 総合戦略

第1期 (H27.10~R3.3) の効果検証について

令和3年11月

目次

1. 基本目標1	
魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”	1
2. 基本目標2	
人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”	6
3. 基本目標3	
誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”	10
4. 基本目標4	
“やつしろ”の発展を支えるまちづくり	14

評価	評価の説明
◎	目標を達成したもの
↗	目標未達成であるものの計画策定時の値と比べ、数値が上昇しているもの
→	目標未達成であり、計画策定時の値を維持したもの
↘	目標未達成であり、計画策定時の値と比べ、数値が低下しているもの

基本目標1 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”

数値目標	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標							
従業者数(人)	49,768人 (H24)	48,544人 (R1時点)	49,011	-	-	-	R3年 経済センサス (R4年5月公表)	-	-
製造品出荷額等(億円)	2,292億円 (H25)	2,580億円 (R1計)	2,463	2,644	2,688	2,753	R3年 経済センサス (R4年5月公表)	-	-
農業者総所得額(億円)	52億円 (過去5年間の最大・ 最小値を除く平均値)	54億円 (R1計)	56	72	47	40	39	▲15億円	↘

1. 多様な地域資源を活かす

(1) 稼げる農林水産業の実現

農林水産物の「安心・安全」、「高品質」、「安定生産」に向けて、担い手の確保とともに地域の特性を活かした生産体制の確立や低コストへの取組みを支援し、稼げる農林水産業の実現に力をいれます。また、豊富な森林資源を木材需要に応じて供給するシステムの構築と利用促進への取組み、漁場環境保全や水産資源の回復・増大への取組みを進めるなど、生産環境の改善や品質向上等の生産振興を総合的に支援・促進します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時		実績値	H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①いぐさ作付面積(ha)	601	630	実績値	517	469	443	389	346	▲284	↘
			総括	生活様式の変化による需要減少、外国産との競合による価格低迷等により、年々生産者が減少しており、同様に作付面積も減少した。						
②素材生産量(万m ³)	6.7	10.0	実績値	9.2	9.6	9.8	10.0	10.0	0.0	◎
			総括	災害等の影響もあったが、木材輸出やバイオマス燃料としての需要があり、年間を通じて素材生産が行われ目標を達成した。						
③漁獲量(t)	301	330	実績値	270	215	234	242	251	▲79	↘
			総括	近年多発する自然災害や海域環境の変化、更には漁業者の減少と高齢化等により、最終的に目標は下回ったものの、稚魚の放流やアサリの保護等の活動により、期間全体として一定の成果があった。						
④木の駅プロジェクト取扱量(t)	1,000	1,200	実績値	1,401	852	940	760	1,527	327	◎
			総括	自伐林家等個人の持込が増加しており、「木の駅」として市民に認知され、役割が生かされてきた結果、目標を達成した。						

(2) フードバレーやつしろ基本戦略構想の推進

「食」に関するあらゆる産業が活性化した県南フードバレー構想の一翼を担う「フードバレーやつしろ」を目指し、6次産業化の推進等による新商品開発や高付加価値化、国内外での農林水産物のプロモーション活動や食品の輸出拡大による流通促進などの取組みを進めます。また、本市の豊富な農林水産物を活かした「食」に関連する幅広い取組みを展開するために、食品関連産業や研究開発施設の集積を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時		実績値	H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 6次産業化・農商工連携による新商品開発数(商品)	5	10	実績値	6	6	6	7	8	▲2	↗
			総括	新商品開発数は増加傾向にあるものの、新商品開発に積極的な事業者の掘り起こしが不足したこと等により目標を下回っている。今後も事業者に対して、アドバイザーによる商品開発に関する助言や関係機関等との連携強化を図ることにより意欲換気を促し新商品の開発に繋げていく。						

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
② 海外における農林水産物販売額(万円)	1,400	3,000	実績値	1,028	1,633	1,908	1,333	1,665	▲ 1,335	↗
			総括	輸出先国の規制や価格、鮮度保持などの諸条件により、成約に至らないケースがあり、目標を下回っている。既存の取引を継続しつつ、生産団体や県、周辺自治体と連携し、販路拡大に取り組む。						
③ 八代港を利用した農林水産物の輸出コンテナ数(TEU)	4	90	実績値	64	120	130	92	163	73	◎
			総括	利用助成制度の効果により、目標を達成した。引き続き制度の周知により、継続的な利用拡大を図る。						
④ 食品関連企業への設備投資支援件数	0	—	実績値	—	—	—	—	—	—	—
			総括	平成28年度に地方創生推進交付金を活用し実施予定であったが、熊本地震の発災により、国・県等により復旧支援事業が創設されたことに伴い事業を停止した。						

基本目標1 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”

2. 多彩な地域産業を支える

(1) 成長産業化への多面的な支援の展開

自社技術や製品の販路開拓・拡大の支援や事業資金の融資等による中小企業の競争力強化、中小企業等が実施する新技術・新製品等の研究開発事業への支援などにより、独自の優れた技術・製品をもつ企業の育成を図ります。
また、企業と地域の教育機関との研究・開発についての連携を支援していきます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 販路拡大等に向けた展示会等への出展支援件数(累計)	0	23	実績値	13	17	19	22	22	▲ 1	↗
			総括	順調に支援件数は増加していたが、令和2年度は、コロナ禍を考慮し募集を行わなかったことから目標達成には至らなかったものの、概ね目標の水準に到達しており、有効な施策であった。						
② 新技術・新製品研究開発支援件数(累計)	5	25	実績値	6	9	10	11	13	▲ 12	↗
			総括	H30年度に制度変更等があり、申請の対象となる企業数が減少したことにより結果的に目標達成に至らなかった。財政的な制約もあり、支援できる数が限られてくるが、企業の成長を促す意味で、重要な施策である。						

(2) 「人材」の確保・育成・支援

産業振興はその担い手となる人材の確保が基礎となります。農林水産業については、新規就業に係る知識・技能の習得支援や就業給付金等の活用により、担い手の確保を図ります。製造業をはじめとする第2次産業や商業・サービス業等の第3次産業については、地域人材のマッチングを展開するとともに、スキルアップ等の支援により人材育成を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 農林水産業の新規就業者数	30	40	実績値	38	34	38	17	32	▲ 8	↗
			総括	H28年度から順調に新規就農者を確保している。R1年度は一時的に減少したが、R2年度はコロナの影響からUターンによる新規就農者及び各団体との連携による周知活動から学卒新規就農者が増加した。今後も取組を維持するとともに、各種事業の啓発等を実施し、担い手の更なる確保を図る。						
② 人・農地プランにおける中心経営体数	824	1,000	実績値	1,093	1,191	1,247	1,265	1,361	361	◎
			総括	農業委員や農地利用最適化推進委員と連携し、地域主体の話し合いにより人・農地プランの実質化を進める中で、人材の掘り起こし等があり、将来の農地の担い手である中心経営体数が増加し目標を達成した。						
③ 林業関係認定事業体数	10	11	実績値	11	11	11	11	11	0	◎
			総括	素材生産を主に行い雇用確保に努めており、認定事業体として継続して事業を行い目標を達成できた。						
④ 地域人材マッチング事業で就業した人数	0	30	実績値	120	108	74	59	2	▲ 28	↗
			総括	マッチング支援に関しては、目標を大きく上回る実績を上げていたが、国県市で重複する施策があるため、市として事業を縮小したことが影響し最終年度では目標達成に至らなかった。今後は、別の施策で就業の支援を図っていく。						

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
⑤ 経営者人材育成セミナー受講者数(累計)	0	24	実績値	5	9	15	22	40	16	◎
			総括	助成制度の統合などにより順調に受講者数が増加し、また新たに「未来創造塾」という若手経営者の育成に取組み目標を達成した。地方創生にとっても効果的な施策であると考えているため、継続して事業を実施していく。						
⑥ インターンシップ の受入れ企業数	0	20	実績値	3	20	81	245	107	87	◎
			総括	多くの企業の理解を得ることができ、目標を達成した。実践的なインターンシップとなるよう内容の充実を図る。						

基本目標1 魅力ある産業と雇用を創出し、活力に満ちた“やつしろ”

2. 多彩な地域産業を支える

(3) 基幹産業の支援・強化

本市の製造業は、古くから大規模工場や事業所が立地しており、地場の中小企業振興の一翼を担い、共に発展してきました。今後、安定的な生産確保をするとともに、生産性の向上など、時代に合った産業活動を促進する観点から、大規模事業所の維持拡大及び地場の中小企業を支援するとともに企業誘致を推進します。

また、安定的な生産活動を確保するため、農業分野においては経営規模の拡大や担い手への農地集積を進めることにより、生産性の向上を図るなど、時代に合った産業活動を推進するため、産業基盤の強化・充実を促進します。

さらに、基幹産業の強化のため、研究施設等の政府関係機関の移転誘致にも取り組んでいきます。

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 企業立地件数(熊本県と立地協定を締結した件数:累計)	7	22	実績値	4	4	16	23	26	4	◎
			総括	これまで取り組んできた企業誘致活動が奏功し、目標を達成することができた。						
② 新增設に対する支援件数(累計)	15	43	実績値	11	18	28	45	48	5	◎
			総括	これまで取り組んできた企業誘致活動が奏功し、目標を達成することができた。						
③ 担い手農家への農地集積率(%)	67.8	80.0	実績値	65.1	66.7	68.0	68.0	69.4	▲ 10.6	↗
			総括	特に平野部においては、担い手農家への集積が進んでおり、規模拡大志向の担い手は多いものの、貸出を希望する農地の面積や場所、形状などでマッチングしないケースが見受けられ、集積率が伸び悩んだ。 農地バンク制度の周知を行い、継続して農地所有者への啓発も実施する。						

3. 南九州のゲートウェイとしての拠点性向上

(1) 国際貿易港「八代港」の振興

八代港は重要港湾の指定を受けた県下最大の港湾で、南九州の物流拠点としての役割を果たしています。国、県等と十分に連携しながら、船舶の大型化や貨物取扱量の拡大などに対応した港湾機能の強化や海外航路の新規開拓、企業等への支援などをはじめとするポートセールスの展開により、八代港の利用促進を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 八代港のコンテナ取扱量(TEU)	18,000	28,000	実績値	18,980	20,305	23,065	23,357	23,623	▲ 4,377	↗
			総括	これまで順調にコンテナ取扱量は増加しており、令和2年度には大規模災害等に起因する国内のコンテナ輸送が増加したが目標達成には至らなかった。 今後、大幅なコンテナ取扱量の増加を図るには、韓国・台湾直行便だけでなく、中国向け新規航路の開設が必要であることから、引き続き、コンテナ船社や荷主等へのポートセールスに取り組む。						
② 企業訪問件数(ポートセールス:累計)	583	2,900	実績値	896	1,596	2,055	2,496	2,596	▲ 304	↗
			総括	毎年、精力的に企業訪問を実施した結果、ほぼ目標数値までの進捗であった。今後も、引き続きポートセールスを行う。						
③ 荷役設備等導入支援件数(累計)	0	2	実績値	2	2	2	2	2	0	◎
			総括	平成27年度に地方創生交付金の活用により設備の導入を行い目標を達成した。						

基本目標2 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”

数値目標	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標							
観光入込客数(万人)	238万人 (H26)	260万人 (R1計)	221	284	253	217	154	▲106万人	↘
観光消費額(億円)	119億円 (H26)	130億円 (R1計)	99	144	134	122	81	▲49億円	↘
社会増減数	▲1,199人 (H27-31社人研推計値)	▲1020人 (H27-R1累計)	▲141	▲252	▲367	▲692	▲966	54人	◎

1. 交流人口の拡大

(1) 地域資源を活かした交流拡大の推進

本市には、平家落人伝説が残る秘境五家荘や開湯600年の歴史を誇る日奈久温泉、やつしろ全国花火競技大会、妙見祭や松浜軒、伝統芸能などの文化財、農林水産業や自然環境を活かした体験型のプログラムなどの多様な観光資源があります。これらの魅力向上や新たな観光資源の掘り起こし、来訪者の受入環境の整備や受入れ組織の強化、特産品等の地域資源を活かしたブランディング等により、ヒトやモノの交流拡大を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時		実績値	H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①新規開発する体験・交流プログラム数(累計)	0	40	実績値	4	10	14	19	19	▲21	↗
			総括	新規に開発したプログラム数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標達成には至らなかった。今後の国の経済対策に伴う観光需要の回復に期待したい。						
②やつしろ全国花火競技大会観覧者数	300,000	330,000	実績値	300,000	300,000	300,000	300,000	0	▲330,000	↘
			総括	観覧席を増席する等に取り組んだが、市内宿泊施設も既に満室になっている状況等もあり、観覧者数に大きな変化はなかった。R2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響から開催中止となったことから目標達成に至らなかった。						

(2) 世界に打ち出す観光業の展開

八代港におけるクルーズ需要を取り込み、インバウンドの拡大を図るため、クルーズ船の寄港促進に向けた取組みや八代妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録も視野に入れた外国人観光客の受入れ環境の整備、受入れ組織の強化等を行い、県南各地域とも連携し、新たな交流人口の拡大を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時		実績値	H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①クルーズ船の来航数(回:累計)	3	150	実績値	29	95	108	143	144	▲6	↗
			総括	順調に来航数が増加しており目標達成間近であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、クルーズ船の寄港がなくなったことから、目標達成には至らなかった。						
②無料公衆無線LAN設置箇所数	0	30	実績値	23	23	23	23	23	▲7	↗
			総括	目標達成には至らなかったものの、無料公衆無線LANを整備したことで、観光客や買い物客に観光地や店舗の情報などを広く発信できた。特に、大型クルーズ船が八代港に寄港した際には、無料公衆無線LANを求め、多くの乗客・乗員が利用していたため、一定の成果があった。						

KPI	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価	
	現状	目標								
③ クルーズ船等により観光や買物等を目的に市内へ来訪した外国人数	2,500	12,500	実績値	16,252	21,210	7,974	3,932	0	▲ 12,500	↓
			総括	外国人来訪者は年々増加し目標値を大きく上回った年もあったが、市外への観光が増加し減少した。また、新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度は国による入国制限等が行われクルーズ船の寄港がなかったため、目標達成には至らなかった。						

基本目標2 人をひきつけ、人が集う、活気ある“やつしろ”

1. 交流人口の拡大

(3)スポーツツーリズムの推進

スポーツ環境の整備やスポーツ大会等の誘致・開催を進めるとともに、スポーツイベント等に関わる旅行や周辺観光など、スポーツと観光を融合させることで、新たな価値や感動を提供し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 全国規模のスポーツ大会等の来場者数	4,500	6,700	実績値	600	900	13,600	48,500	0	▲ 6,700	↘
			総括	H30,R1は大きく目標を上回ったが、R2はABCバドミントン大会等、予定していた大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になったため、策定時の目標を下回った。						
② 全国規模のスポーツ大会等の開催・誘致件数	1	9	実績値	2	9	12	13	0	▲ 9	↘
			総括	H30,R1は大きく目標を上回ったが、R2はABCバドミントン大会等、予定していた大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になったため、策定時の目標を下回った。						

2. 移り住みたい、住み続けたいまちづくり

(1)移住・定住の推進

本市への移住や定住を促進するため、本市の魅力発信やきめ細やかな情報提供を行うとともに、移住者の受入体制の整備等をはじめ、誰もが安心して住み続けられるよう、移住・定住者に対する多方面での支援を行います。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①空家バンク登録数(件:累計)	30	55	実績値	2	10	23	47	70	15	◎
			総括	毎年度、固定資産税の納税通知と同時にチラシを配布し、広報やつしろ及びFMラジオに全世帯向けに周知することで、空家バンク制度の定着化が図られてきたことにより目標を達成した。						
②移住・定住の支援組織数	-	2	実績値	0	1	2	2	2	0	◎
			総括	平成28年度に1組織,平成29年度に1組織が発足し、目標を達成した。						
③「やつしろの風」登録会員数	1,100	9,000	実績値	1,797	5,950	8,609	7,855	9,134	134	◎
			総括	ふるさと納税の寄附者増加に取り組むとともに、その寄附者へ会員登録の案内をすることにより、目標を達成した。						
④ホームページアクセス数	489,867	525,000	実績値	1,343,368	695,047	533,779	577,233	1,352,205	827,205	◎
			総括	全ての年度において目標を達成することができた。また、H28年度やR2年度においては、熊本地震関連情報、新型コロナウイルス関連情報及び令和2年豪雨災害関連情報の発信により、アクセス数が急増したと考えられる。今後も本市の魅力が伝わるよう積極的な情報発信に努めていく。						

(2) 中心市街地のにぎわい創出

商店街は、魅力ある中心市街地の形成にとっても重要な資源です。空き店舗の活用や新規出店者への補助など、商店街の活性化に向けて取組みを強化し、県南の中心都市として交流人口の拡大を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
①中心商店街の通行量	8,789	9,000	実績値	7,466	6,904	6,756	6,326	6,327	▲ 2,673	↘
			総括	年々、実績値が減少していることから、商店街にコワーキングスペースや大型病院をなどの新しいランドマークを誘致し、新しい人流で商店街の賑わい創出を図ったが、新型コロナの影響で、多くのイベントや祭りが中止になり、目標の達成に至らなかった。						
②中心商店街の新規出店数 (空店舗の改善:累計)	4	15	実績値	12	14	21	26	31	16	◎
			総括	大型クルーズ船の乗客や、大型病院・新庁舎の関係をターゲットにした新規店舗が商店街に進出したため、目標の達成につながった。						

基本目標3 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”

数値目標	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標							
希望出生率	2.00 (H27)	2.07 (R1計)	-	-	-	1.88 (R1調査)	-	▲0.19	↘
65歳以上人口に占める要介護3以上の割合(%)	7.21% (H27)	7.20%以下 (R1時点)	7.70%	7.77%	7.42%	7.57%	7.44%	▲0.24%	↘

1. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1) 結婚・出産・子育てへの支援の展開

妊娠、出産、子育て中の人や、子どもの発達に不安をもつ家族などが、不安感や孤立感、負担感を抱えて生活することがないよう、精神的負担や経済的負担を軽減する取組みを実施し、安心して子どもを産み育てることができるよう支援を行います。
また、結婚の希望実現を図るための取組みを推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価	
	現状	目標								
① 妊娠届出数	1,020	1,087	実績値	967	970	897	829	814	▲ 273	↘
			総括	妊娠適齢期と考えられる20～34歳の人口減少及び晩婚化・未婚化の影響等により妊娠届出数は、年々減少している。不妊治療の公的助成の拡大等を実施し少子化対策を強化したが、目標達成には至らなかった。 安心して子どもを生み育てることができる環境の整備を更に推進する。						
② 乳児全戸訪問指導実施率(%)	98.1	100.0	実績値	98.9	99.3	99.1	99.1	99.2	▲ 0.8	↗
			総括	訪問実施率100%を目標に事業を実施したが、自宅への訪問を拒否するケースがあり、目標達成に至らなかった。しかしながら、未訪問については来所等で状況を確認し、全乳児の把握ができた。						
③ 地域子育て支援センター・つどいの広場利用者数(延数)(人/月)	4,661	4,703	実績値	4,951	4,556	4,463	3,613	1,963	▲ 2,740	↘
			総括	未就園児数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し、目標達成には至らなかったものの、少子化や核家族化の進行などにより、子育て中の親の孤独感や不安感の増大といった問題が生じている中、未就園の多くの子育て親子の利用がっており、その支援の場として今後も継続して実施していく。						
④ 第三子以降保育料無料化の対象者数(累計)	853	4,502	実績値	1,795	2,764	3,844	4,775	5,142	640	◎
			総括	順調に実績が増加したため、目標を達成した。 保護者の経済的負担の軽減を図ることができている。						
⑤ 障がい児通所支援事業の利用者数	427	763	実績値	611	638	730	757	775	12	◎
			総括	乳幼児健診や発達相談等によって療育が必要な対象児童の早期発見や医療機関受診へと繋がり、幼少期よりサービスの利用申請となり目標を達成した。 また、通所事業所の増加により利用者の目的に応じたサービス提供を受けることができる体制も整ってきた。						
⑥ 婚活イベントへの参加者数累計(累計)	0	900	実績値	444	634	743	977	977	77	◎
			総括	体験型婚活イベントの開催や婚活事業実施団体への補助を行うことにより、出会いの場を創出することができ、R1年度時点で目標を達成することができた。 なお、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により婚活イベントの開催を見送った。						

基本目標3 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”

1. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(2) 働きながら子育てしやすいまちづくり

共働き世帯の増加や働き方の多様化に対応するため、保護者のニーズに応じた各種保育サービス等の提供を行い、仕事を持ちながら安心して子育てできる環境の整備を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
①放課後児童クラブ数(箇所)	34	43	実績値	38	38	39	40	38	▲ 5	↗
			総括	期間内において8クラブについて整備(うち新設2クラブ)を行い、受入児童数の拡充を行ってきたが、目標を達成することができず、待機児童の解消には至っていない。今後も利用ニーズの高い校区を優先した整備を行っていく。						
②保育所・認定こども園・地域型保育の保育定員数	4,439	4,508	実績値	4,469	4,499	4,489	4,498	4,498	▲ 10	↗
			総括	少子化等による対象者の減少に伴い、令和2年度に「八代市子ども子育て支援事業計画」を見直し、保育定員数を4,498人に変更した。目標達成には至らなかったものの、待機児童はいないため、保育需要に対応するという目標は達成できている。						
③日中一時支援事業(日中短期入所)利用者数(人/月)	17	31	実績値	18	20	19	14	9	▲ 22	↘
			総括	R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れを一時停止したことにより、利用者数が大幅に減少し最終的に目標を達成に至らなかったものの、期間全体として日中活動の場を提供し、見守り等の支援等が実施できており、一定の成果があった。						
④日中一時支援事業(障がい児タイムケア)利用者数(人/月)	73	120	実績値	88	100	118	102	117	▲ 3	↗
			総括	目標達成には至らなかったものの、期間全体としての利用者は増加傾向にあり、障がい児へ日中活動の場を提供するとともに、事業所を活用した一時預かり支援が実施できており、一定の成果があった。						

基本目標3 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”

2. 健やかな暮らしの実現

(1) 健やかで安心な暮らしの確保

市民が生涯にわたり、健康で、いきいきとした生活が送れる健康長寿社会の実現を目指して、生活習慣病の発症予防や重症化予防のための健診や保健指導等の充実を図ります。

また、高齢になって病気や介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、医療、介護、予防、住まい及び生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を図ります。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①特定健診受診率(%)	32.5	向上	実績値	33.5	32.1	33.1	34.2	34.5	2.0	◎
			総括	様々な受診率向上への取組により、若干ではあるが受診率は向上し目標を達成した。今後は、健診未受診者分析を行うとともに、新たに特定健診の対象となる40歳への受診券送付、による受診勧奨や、治療中の者には医療機関と連携した「特定健診同等検査情報提供事業」を実施する等の取組を推進し、更なる受診率の向上を目指す。						
②各種がん検診受診率(%)	19.3	向上	実績値	12.6	11.8	9.9	9.4	8.6	▲ 10.7	↘
			総括	全国的にも同様の傾向であるが、がん検診受診率は年々減少傾向にあり、目標達成には至らなかった。がんは、早期発見・早期治療が重要であることから、市民へのがん検診に対する正しい知識の啓発や受診の少ない若い世代への受診勧奨を行うとともに、郵送法による大腸がん検診を新たに導入する等市民が受けやすい検診体制の充実を図り、受診率の向上を目指す。						
③地域包括ケアシステムについての認知度(%)	23.0	向上	実績値	—	—	—	32.2	32.2	9.2	◎
			総括	住民向け講演会や啓発講座の開催、啓発チラシの配布等により地域包括ケアシステムへの理解が図られ目標を達成した。						

(2) 学び・教育の充実

子どもが等しく安心して教育を受けられるように、経済的支援の充実を図り、子どもの就学及び学習機会の均等を確保します。また、学校、家庭、地域社会の連携により、子どもの知・徳・体の向上や地域における教育力の向上を目指します。さらに、郷土のよさを活かした教育活動を展開し、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を育むための教育環境を整えます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①「学校に行くのは楽しい」と思う小学6年生の割合	51	60	実績値	56	54	68	75	75	15	◎
			総括	中学校区で目指す子供像を明確にすることで、各学校での取組が充実したことにより目標を達成した。						
②「地域のことが好きだ」と思う中学1年生の割合	49	54	実績値	47	47	44	48	54	0	◎
			総括	学校における総合的な学習の時間等の充実により、「地域のことが好きだ」と思う中学1年生の割合が向上し目標を達成した。さらに、子供が郷土愛をもつことができるように教育環境の充実を図る。						
③家庭教育学級参加者数	14,733	15,000	実績値	13,652	15,789	16,043	14,915	4,546	▲ 10,454	↘
			総括	少子化が進む中、家庭教育の啓発や研修会の充実等により参加者は増加傾向にあり、目標を達成していた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により各家庭教育学級の活動が制限されたため、大幅な減少となった。						

基本目標3 誰もが希望をもって暮らせる“やつしろ”

2. 健やかな暮らしの実現

(3) 女性の社会参画の支援

男女共同参画を推進し、女性の社会参画を支援する仕組みづくりなどを通じて、女性が活躍できる社会の実現を目指します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
① 審議会等における女性委員の割合	32.2	40.0	実績値	31.5	30.1	30.9	30.9	31.0	▲ 9.0	↘
			総括	審議会等の委員構成の多くを占める専門の知識を有する者や各種団体等の代表者において女性の在籍が少ないため、推薦される女性が少なく、目標の達成に至らなかった。 引き続き、女性のエンパワーメントの支援、女性人材リストの登録・活用促進、全庁的な女性登用の働きかけを行う。						
② 「男は仕事、女は家庭」というような、性別で役割を固定する考え方に賛同しない人の割合	62.6	75.0	実績値	—	71.2	—	—	—	▲ 3.8	↗
			総括	市民意識調査の結果、若年層では「賛同しない」の割合は男女ともに前回調査に比べ増加してきているものの、年代が上がるにつれ、「賛同しない」の割合が減少しており、特に男性でこの傾向が顕著であったことから目標達成には至らなかった。市民意識調査の結果を踏まえ、より効果的な啓発活動及び学習機会の提供等を引き続き行う。						

基本目標4 “やつしろ”の発展を支えるまちづくり

数値目標	策定時		H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標							
住みやすいと評価する 人の割合(%)	70.8% (H27)	75.0% (R1時点)	-	-	-	68.0% (R1調査)	-	▲7.0%	↘

1. 誇れるふるさとづくり

(1) 特色ある地域づくり

各地域の多種多様な課題の克服や活力ある地域社会形成のため、地域活動への支援やコミュニティセンターの設置・整備等を進め、市民と行政が協働で行う住民自治によるまちづくりを推進します。

また、本市には、松浜軒や水島、八代城跡群をはじめとする名勝や史跡、妙見祭や久連子古代踊りに代表される民俗文化財、干拓樋門や石橋など、多くの有形無形の文化遺産があります。これらの歴史・文化・伝統の保存継承や、豊かな地域資源を活かした特色ある地域づくり活動を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
① コミュニティビジネス実施地域数	1	10	実績値	4	6	9	10	10	0	◎
			総括	平成26年に21地域協議会が設立され、特に中山間地域においては市との協働で地域の特性を活かしたコミュニティビジネスに取り組み、平野部においてもイベント等での販売事業を展開され、目標を達成した。						
② 国指定文化財件数	11	12	実績値	11	11	11	11	11	▲1	→
			総括	文化財所有者からの同意書の取得が完了し、国(文化庁)へ国指定の意見具申書を提出済みであり、引き続き、国との協議を継続し、早期の国指定を目指す。						

基本目標4 “やつしろ”の発展を支えるまちづくり

2. 暮らしの拠点づくり

(1)「生活基盤」の整備

市民の安心・安全・快適な住環境の充実を図るため、交通環境の形成と再生可能エネルギーの普及拡大やICT基盤をはじめとする生活基盤の整備・強化を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①超高速通信網の整備促進(地区)	1	6	実績値	1	1	1	2	5	▲1	↗
			総括	超高速通信網整備への着手が令和元年度からとなり、目標達成には至らなかったものの、令和4年度には完了する計画である。						
②市道の改良率(%)	50.9	53.0	実績値	50.4	51.0	51.3	51.6	51.8	▲1.2	↗
			総括	目標達成には至らなかったものの、実績値は確実に増加している。令和2年7月豪雨災害により、進捗が遅れた工事があったため、今後も財源の確保に努め、計画的な事業進捗を図る。						
③都市計画道路の整備率	79.5	80.4	実績値	79.9	80.0	80.2	80.3	80.4	0.0	◎
			総括	西片西宮線道路整備事業の用地補償や工事が計画どおり順調に進み目標を達成した。						
④バリアフリー化率(道路)	52.3	70.0	実績値	67.5	68.5	69.2	69.4	69.5	▲0.5	↗
			総括	計画的に事業を進めることができ、概ね目標達成の状況であった。今後も財源の確保に努め、計画的な事業進捗を図る。						
⑤バリアフリー化率(公園)	34.6	45.0	実績値	35.4	37.8	42.7	43.9	48.8	3.8	◎
			総括	都市公園安全・安心対策緊急支援事業にて実施し目標を達成した。引き続き事業の推進を図る。R2年度は、内示増により計画より1箇所増の実施。						
⑥汚水処理人口普及率	63.4	73.6	実績値	64.9	67.6	68.8	69.8	71.4	▲2.2	↗
			総括	工事単価等の高騰により想定以上に整備が進まなかったが、概ね目標に近づくことができた。						
⑦住宅用太陽光発電システムの普及率	5.4	15.0	実績値	12.9	13.4	14.0	14.7	15.4	0.4	◎
			総括	順調に普及が進み目標を達成した。引き続き、再生可能エネルギーの普及・利用促進に関する情報提供や支援を行っていく。						
⑧市有施設への太陽光発電設備導入数	11	15	実績値	13	13	14	14	14	▲1	↗
			総括	目標達成には至らなかったが、概ね順調に導入してきている。今後の具体的な導入予定はないが、実行計画等に基づき再エネ設備の導入に努めていく。						

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と 目標値差	評価
	現状	目標								
⑨ケーブルテレビインターネット 利用者数	984	1,180	実績値	987	977	976	963	887	▲ 293	↓
			総括	インターネット通信環境の改善を行うなど利便性の向上に努めてきたが、利用者数は微減の状況が続き、令和2年7月豪雨により大幅な減少となり目標達成には至らなかった。令和元年度から市内未整備地域の光ブロードバンド整備が始まったことから、今後は民間サービスへの移行を促進していく。						
⑩ケーブルテレビ光ケーブル普 及率	0.0	100.0	実績値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	→
			総括	令和元年度から市内未整備地域の光ブロードバンド整備が始まったことから、ケーブルテレビ施設の更新にあたっては民間の光回線を活用できないか現在検討を行っている。						

基本目標4 “やつしろ”の発展を支えるまちづくり

2. 暮らしの拠点づくり

(2) 災害に強いまちづくり

市民の安心・安全・快適な住環境の充実を図るため、交通環境の形成と再生可能エネルギーの普及拡大やICT基盤をはじめとする生活基盤の整備・強化を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①自然災害対策事業 (5か年の事業完了路線数)	-	5	実績値	3	6	5	5	5	0	◎
			総括	計画的な実施により事業の進捗が図られ目標を達成した。						
②砂防事業・急傾斜地対策事業等の促進(県事業) (5か年の事業完了箇所数:累計)	-	5	実績値	2	3	3	3	3	▲2	↗
			総括	計画的に事業を進めていたが、令和2年7月豪雨災害により被災した箇所を優先して工事を行ったことや設計見直しにより、本事業の目標達成に至らなかった。						
③自主防災組織結成率(%)	80.0	90.0	実績値	82.3	85.2	87.0	88.0	87.5	▲2.5	↗
			総括	順調に組織結成が進んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛する団体もあり目標達成に至らなかった。						
④消防団員の充足率(%)	96.0	96.0	実績値	95.3	94.4	91.9	91.8	91.4	▲4.6	↘
			総括	H28以降、退団者数が入団者数を上回り、年々減少している状況となり目標達成には至らなかった。今後入団者を増やす為、市内企業、関連団体へ働きかけを行い、団員数確保に努める。						
⑤防災情報システムの再構築(%)	-	100.0	実績値	10.0	20.0	60.0	60.0	80.0	▲20.0	↗
			総括	システム構築事業は、実施設計まで終了しており令和3年度末までの工期で順調に進捗している。						

(3) 持続可能な公共交通体系の構築

身近な近隣拠点等までの移動手段が確保され、地域で生活し続けられる環境が維持される一方で、多様で高度な機能が集積する中心拠点などと相互に円滑なアクセスが確保される公共交通体系の構築を推進します。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
①公共交通不便地域の居住人口割合	19.3	15.0	実績値	19.3	15.4	15.4	15.3	10.2	▲4.8	◎
			総括	H29年10月及びR2年10月に実施した乗合タクシーの運行区域拡大により、公共交通サービスを提供する範囲を広げたため、目標を達成することができた。						
②市街地循環バス利用者数(万人)	28.4	37.0	実績値	27.8	28.9	25.4	25.2	20.8	▲16.2	↘
			総括	H29.10の再編時に運賃を100円から150円へと見直したことや、他の路線バスへの利用転換により利用者数が減少した。また、R2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等により、さらに利用者が減少し目標達成には至らなかった。						

基本目標4 “やつしろ”の発展を支えるまちづくり

2. 暮らしの拠点づくり

(4) 地域間連携の推進

本市は、すでに近隣自治体と一体的な経済・生活圏を形成しています。今後、人口が減少しても、自治体間の役割分担と連携により、圏域に必要な都市機能及び生活機能を確保し、住民が安心して暮らせるように、定住自立圏形成等の連携による取組みを強化していきます。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 定住自立圏共生ビジョンに基づく具体的取組み数	0	51	実績値	51	51	51	51	51	0	◎
			総括	平成29年3月に策定した「八代市・氷川町・芦北町定住自立圏共生ビジョン」において、51項目の具体的取組を設定し目標を達成した。						

(5) 行政の効率化

公共施設の更新や統廃合、長寿命化を図るため、公共施設等総合管理計画などに基づいた公共施設の的確なマネジメントや、メンテナンスサイクルの構築と着実な実行を推進します。また、マイナンバー制度の活用なども含め行政の効率化を図り、持続可能な行政運営を行います。

■重要業績評価指標(KPI)

KPI	策定時			H28	H29	H30	R1	R2	最終値と目標値差	評価
	現状	目標								
① 橋梁長寿命化修繕事業による修繕箇所数	9	40	実績値	18	26	29	31	40	0	◎
			総括	財源が確保でき、計画的な事業進捗が図られ目標を達成した。						
② 公園施設長寿命化計画による更新施設数(遊戯施設)	10	50	実績値	14	20	28	35	39	▲ 11	↗
			総括	目標達成には至らなかったものの、公園施設長寿命化対策支援事業にて実施し確実に更新施設数は増加している。緊急性・利用頻度より必要性が高い箇所より事業を実施する。						
③ 八代市営住宅長寿命化計画による修繕・改善事業数	20	77	実績値	57	64	70	74	80	3	◎
			総括	八代市営住宅長寿命化計画に基づき住宅の改善を行った結果、目標を達成した。引き続き令和3年度からは「第2期八代市営住宅長寿命化計画」に基づいて修繕や改善を実施していく。						